

I 調査の概要

1 調査の目的

老齢年金受給者について、収入、支出、就業状況等の実態を総合的に把握し、年金が受給者の生活の中で果たしている役割をとらえ、年金制度運営のための基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査対象及び調査客体

平成18年11月1日現在における厚生年金及び国民年金の老齢年金受給者を調査の対象とし、調査対象から無作為に抽出された23,000人を調査の客体とした。

3 調査時点及び調査期間

調査時点は平成18年11月1日とし、調査期間は平成18年11月1日から30日までの1カ月間とした。

4 調査事項

年金の受給状況、収入の状況、就業状況等の事項について調査した。

5 調査方法

調査客体として抽出された老齢年金受給者に調査票を直接郵送し、これに所要の事項を記入の上、返送を求める方法によった。

6 回収率

調査客体数、調査票返送件数、回収率、集計客体数（有効回答を得たもの）は、次のとおりであった。

調査客体数	調査票 返送件数	回収率	集計客体数
件 23,000	件 12,171	% 52.9	件 12,153

7 集計値の扱い

年齢（階級）別、男女別等に層を区分し、母集団の年齢（階級）別、男女別等構成割合に基づいて、層ごとに集計値の補正を行っている。また、掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」と合わない場合がある。

なお、本調査の集計値には標本調査に伴う標本誤差がある。